



**マースグループ  
ホールディングス役員  
(敬称略)**

左から、取締役／秋山学、高橋文治、小平尚、洞口治夫(社外)、山下善久(社外)、常勤監査役／名取満郎、監査役／吉田茂夫(社外)、寺脇由紀(社外)。



松波明宏  
代表取締役社長



創業者  
松波廣和氏



**グループ会社役員  
(敬称略)**

前列左から、(株)マースエンジニアリング・代表取締役社長／江藤征弘、同・取締役／美濃谷雄一、小沼竜己、(株)マースシステムズ東日本・取締役／大久保昌明、(株)マースシステムズ東海・代表取締役社長／近山茂明、同・取締役／根本幸一、(株)マースシステムズ西日本・代表取締役社長／秋山裕和、同・取締役／石倉直樹、(株)マースコーポレーション・代表取締役社長／野口智。

**グループ会社役員  
(敬称略)**

前列左から、(株)マースウイnteック・代表取締役社長／井出平三郎、同・取締役／本山直樹、青木澄雄、(株)マースネットワークス・代表取締役社長／中野尾維也、同・取締役／宮脇雅嗣、(株)マーストークンソリューション・取締役／高橋浩二、(株)マースプランニング・取締役／綾部誠、(株)マーステクノファクトリー・代表取締役社長／藤原久信。



東京きらぼLFG  
渡邊壽信 代表取締役社長  
グループCEO



株式会社マースグループホールディングス  
**創立50周年記念祝賀会**

# 100年企業に向け決意新たに 半世紀の歩みと功績を祝う

(株)マースグループホールディングス(松波明宏代表取締役社長)は9月14日、帝国ホテルで創立50周年記念祝賀会を開催した。全国から同社の各種システム等を導入するホール企業の経営者や取引企業の関係者ら200名以上が出席し、半世紀の歩みと功績を祝した。



同社は1974年9月13日、松波廣和氏を中心とする4人のメンバーが(株)マースエンジニアリングを設立。カシオ計算機との取引を開始し、その後、パチンコ店向け景品管理システムなどを開発・販売。特に1996年にリリースした「パーソナルシステム」は、ホール業務を大幅に軽減・効率化する革新的なシステムとして、今ではホール営業に欠かせないデファクト・スタンダードとなった。1993年に店頭公開、東証2部を経て、2001年に東証1部に上場し、現在はホールディングス以下、計13社のグループを確立している。

松波明宏代表取締役社長は、「創業以来、開発型企業として独創的な発想と技術力で常にお客様の視点に立った製品づくりを心掛けてきた。お客様の声を直接伺い、そのニーズを取り入れたマーケットインのモノづくりで留まらず、常識に捉われない独自の視点で開発するプロダクトアウトの製品づくりを心掛け、業界にない新しい発想のモノづくりを努めてきた」と、製品づくりに対する思いを伝え、「不易流行という言葉があるが、昔から変わらない伝統的なものを守りつつ、時代の変化に応じて新しいモノを取り入れ、次の50年である100年企業を目指して成長し続けていく」と決意を表明した。

祝賀会ではホールディングスとグループ各社の役員が紹介され、乾杯では創業以来取引のある東京きらぼLFGフィナンシャルグループの渡邊壽信代表取締役社長が祝辞を述べた。また、今年10月から9年ぶりに再開する新しいテレビCMがお披露目された。中締め挨拶で登壇した創業者の松波廣和氏は、これまでの社業について「山あり谷ありの50年だった」と回顧。今回の祝賀会に創業4名のメンバーが元気に揃って出席できたことに「この上なく、ありがたく、幸せを感じている」とし、「これも皆様方の弊社への並々ならぬご支援のおかげ」と関係者らに改めて感謝の言葉を述べた。グループ各社の今後については「100年企業として事業を継続し、発展してもらいたい」と、次に更なる成長の夢を託した。